

1. 題材名 「美」・・・発見!

2. 指導計画 (総時数4時間)

- 第一次 ・学校のまわりや校舎内で「美」をウォッチングする。 1時間
- 第二次 ・「美」の鑑賞会をする。 1時間
- 第三次 ・ウォッチングしてきた「美」から新たな美へと追究する。 2時間 (1/2本時)

3. 本時 (第二次の5時)

(1) ねらい

- ・ウォッチングしてきた「美」から新たな美へと自分なりの表現を工夫して再生することができる。
(発想や構想の能力)

(2) ねらいに迫るために

- ・見に見に美術館と題して、製作中に鑑賞タイムを設けたい。友達のアドバイスや賞賛を支えに創作意欲が高まると考える。また、表現方法に困っていることを話す場を設定するなど共に学ぶという意識もつけていきたい。

(3) 準備 プロジェクター P C カラーペン等身近材料

(4) 展開

学 習 活 動	時	児童の主な意識の流れ	・支援 と ★評価
1. 発想のウォーミングアップをする。	5	○参考作品をもとに、発想を広げる。 ・見た感想を自分なりの言葉で発表する。 ・友達の感想を聞いてさらに発想を広げる。	・カラーカードや参考作品を見て自分の思いを発表する場を設定する。 ・発表したことに共感する。
2. 本時の学習を知る。	5	自分なりの表現方法を工夫して、新たな「美」を再生しよう。	・描いたり、はったり自分の思いのままに制作するように話す。
3. 製作する。	15	〔ウォッチングしてきた写真の画面にカラーペンで描いたり、セロハンを貼ったりするなど工夫しよう。〕 ○自分なりの方法でもとの写真から新たな作品をつくる。 ・色をつけよう・紙を貼ろう ・セロハンを貼ろう・ひもを貼ろう。	・つくったり、つくりなおしたりしながらつくることを話す。 ・元の写真を生かすことを話す。 ・机間指導をしながら、個別に相談を受ける。
4. 見に見に美術館をする。	10	○自分や友達のよい所を見つけ発表する。 ・材料が上手くあっているな。 ・色合いがすてきだな。 ・発想がおもしろいな。 ○アドバイスをし合う。	・よさに気づくように視点を示す。 ・発表した内容に共感する。 ・児童の気づかない所を話す。 ・困ったことも発表させる。
5. 鑑賞したことや話し合ったことを自分の作品に生かしながら製作する。	8	○友達の作品やアドバイスを生かしながら製作を続ける。 ・全体のバランス ・色合い ・元の写真が生かされているか考えながらつくる。 友達の作品を参考につくったり、つくりなおしたりしながら、新しい「美」がつくることのできたよ。	・発想が広がるように言葉かけをする。 ★ 発想を広げながら、自分なりの表現方法を工夫しているか。(発想・構想の能力) [行動発言・作品]
6. 次時の学習を知る。		・次時は、作品の全体のバランスに気をつけて製作することを覚える。	・友達の作品を参考にしたり、材料を生かしたりすることを話す。 ・自分なりの「美」を再生するように意欲付けをする。